

世界8資産ファンド<DC年金> <愛称：世界組曲<DC年金>>

追加型投信／内外／資産複合

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界の8つの資産（国内債券、海外債券、エマージング債券、国内株式、海外株式、エマージング株式、国内リートおよび海外リート）にバランスよく分散投資を行い、安定的な投資成果を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2024年5月9日～2025年5月8日

第15期	決算日：2025年5月8日	
第15期末 (2025年5月8日)	基準価額	32,105円
	純資産総額	7,229百万円
第15期	騰落率	△0.9%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

運用の概要

- (1) 「世界8資産ファンド＜DC年金＞」は、「国内債券マザーファンド」、「海外債券マザーファンド」、「エマージング債券マザーファンド」、「国内株式マザーファンド」、「海外株式マザーファンド」、「エマージング株式マザーファンド」、「国内リートマザーファンド」、「海外リートマザーファンド」の各受益証券への投資を通じて、国内、海外およびエマージング諸国の各債券、国内、海外およびエマージング諸国の各株式、国内および海外の各不動産投資信託証券（リート）に実質的に投資します。
- (2) 当ファンドにおける各マザーファンドへの配分比率は以下を基本（これを「基本配分比率」といいます。）とします。

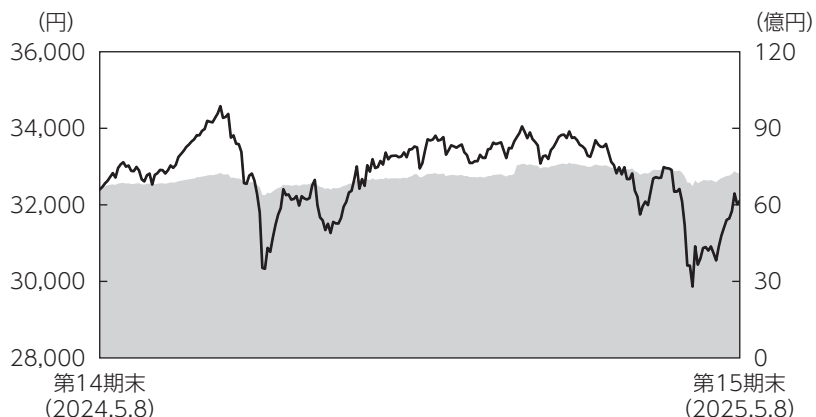
【ファンドの基本配分比率】

資産／ファンド	世界8資産ファンド＜DC年金＞
国内債券	10%
海外債券	10%
エマージング債券	10%
国内株式	15%
海外株式	20%
エマージング株式	15%
国内リート	10%
海外リート	10%

資産	実質的な投資をするマザーファンド	各マザーファンドのベンチマーク
国内債券	国内債券マザーファンド	NOMURA-BPI 総合
海外債券	海外債券マザーファンド	FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
エマージング債券	エマージング債券マザーファンド	JPMORGAN・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）
国内株式	国内株式マザーファンド	TOPIX（配当込み）
海外株式	海外株式マザーファンド	MSCI-KOKUSA I 指数（グロス配当再投資込み、円ベース・為替ヘッジなし）
エマージング株式	エマージング株式マザーファンド	MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
国内リート	国内リートマザーファンド	東証REIT 指数（配当込み）
海外リート	海外リートマザーファンド	S&P 先進国REIT 指数（除く日本、配当込み、円ベース）

運用経過の説明

基準価額等の推移



第15期首： 32,400円
 第15期末： 32,105円
 (既払分配金 0円)
 騰落率： △0.9%
 (分配金再投資ベース)

■ 純資産総額 (右軸) — 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

各マザーファンドを通じて、国内債券、海外債券、エマージング債券、国内株式、海外株式、エマージング株式、国内リート及び海外リートの8つの資産に投資を行った結果、国内株式と海外株式を除いた全資産が下落となり、基準価額は下落しました。

[組入マザーファンドの当作成対象期間における騰落率]

組入ファンド	騰落率
国内債券マザーファンド	△2.9%
海外債券マザーファンド	△1.2%
エマージング債券マザーファンド	△1.4%
国内株式マザーファンド	2.6%
海外株式マザーファンド	0.9%
エマージング株式マザーファンド	△1.9%
国内リートマザーファンド	△1.3%
海外リートマザーファンド	△1.7%

1 万口当たりの費用明細

項目	第15期		項目の概要
	(2024年5月9日 ～2025年5月8日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	325円	0.990%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は32,829円です。
（投信会社）	(199)	(0.605)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(108)	(0.330)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(18)	(0.055)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	32	0.098	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
（株式）	(23)	(0.070)	
（先物・オプション）	(0)	(0.000)	
（投資信託受益証券）	(1)	(0.003)	
（投資証券）	(8)	(0.026)	
(c) 有価証券取引税	9	0.027	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(8)	(0.025)	
（投資信託受益証券）	(0)	(0.000)	
（投資証券）	(1)	(0.002)	
(d) その他費用	77	0.236	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(14)	(0.042)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	(63)	(0.190)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	444	1.351	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

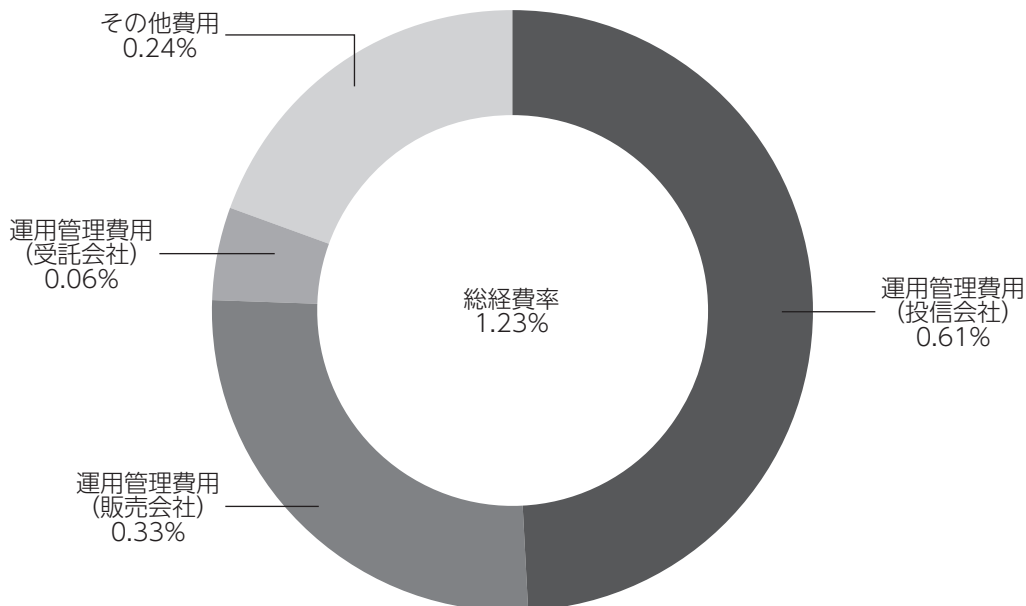
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.23%です。



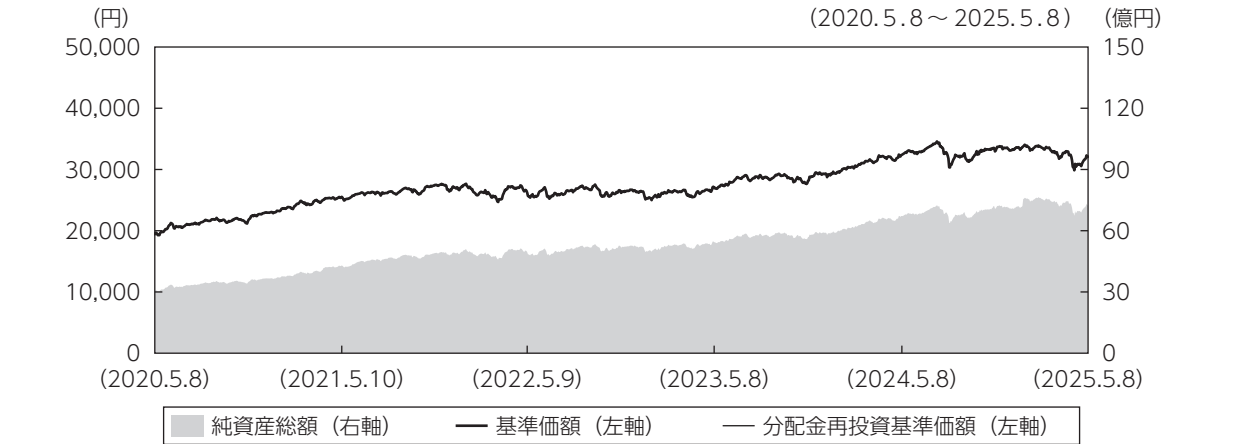
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2020年5月8日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2020年5月8日 期首	2021年5月10日 決算日	2022年5月9日 決算日	2023年5月8日 決算日	2024年5月8日 決算日	2025年5月8日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	19,413	25,535	26,216	26,950	32,400	32,105
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	31.5	2.7	2.8	20.2	△0.9
参考指数の騰落率 (%)	—	33.7	4.1	3.8	22.7	1.3
純資産総額 (百万円)	3,036	4,296	4,949	5,427	6,721	7,229

- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。各マザーファンドのベンチマークについては、後掲の<当ファンドが組み入れているマザーファンドのベンチマークについて>をご参照ください。
- (注2) 参考指数は当ファンドが投資対象とする各マザーファンドのベンチマークの日次リターンデータをもとに、各マザーファンドへの基本配分比率の割合で当社が独自に算出しております (以下同じ)。

投資環境

●国内債券市況

国内債券市場は、NOMURA-BPI総合（以下、ベンチマーク）でみると、3.4%下落しました。期首0.875%で始まった新発10年国債利回りは、日銀が物価の上昇や良好な賃金動向を背景に2024年7月、2025年1月に利上げを実施し、その後も更なる利上げ期待が高まる中、3月には一時1.585%まで上昇しましたが、米国の関税政策が世界経済を下押しするとの見方が強まったことから、金利低下が急速に進み1.325%で期末を迎えました。

●海外債券市況

米国10年国債利回りは米雇用統計の悪化などを受けF R B（米連邦準備理事会）による大幅利下げ観測が高まるなかで低下した後、堅調な経済指標を背景とした今後の利下げペース減速懸念やトランプ政権による政策期待などから低下幅を縮小しました。ドイツ10年国債利回りは、E C B（欧州中央銀行）による利下げ観測やユーロ圏の景気動向に対する懸念から年末にかけて低下した後、ドイツにおける防衛費増額やインフラ投資などの財政拡張の合意などから上昇に転じました。

●エマージング債券市況

期初から9月にかけては米国の各種経済指標が軟調であったことからF R B（米連邦準備理事会）による利下げ観測が高まり、9月のF O M C（米連邦公開市場委員会）において、50 b pの大幅利下げが決定されたこと等から上昇しました。その後はもみ合いの展開となりましたが、4月に米政権による相互関税公表を受け下落した後、中国を除き発動が90日間停止されたため、期末にかけて上昇しました。

●国内株式市況

期首から2025年3月にかけては、日米の金融政策に対する思惑や米新政権における貿易政策などの動向に左右されながら、一進一退の展開となりました。4月月初にはトランプ政権が市場想定を上回る相互関税を発表し、世界景気減速への懸念が高まったほか、円高ドル安の進展などが嫌気されましたが、期末にかけては、トランプ政権による関税政策に緩和姿勢が見られたことなどが好感され、値を戻す形となりました。

●海外株式市況

外国株式市場は上昇しました。5月から9月は、低調な米経済指標を受けた景気後退懸念から下落する局面はあったものの、米テクノロジー大手をはじめとした企業決算などから、株価は上昇しました。10月から2月は、トランプ氏の大統領選勝利を受けて景気刺激策への期待が高まったことなどを背景に上昇基調となりました。3月以降は、米国政権による関税政策を巡る懸念などから調整局面となりましたが、緊張緩和への期待から反発して期末を迎えました。

●エマージング株式市況

新興国株式市場は、米国の利下げや中国の大規模な景気刺激策などが支援材料となり、2024年10月上旬にかけて上昇しました。2025年1月にかけては米次期政権の通商政策を巡る不透明感などを受けて下落しましたが、3月にかけては米国の長期金利低下などを受けて反発しました。その後、米トランプ政権が相互関税を打ち出したことで一時急落しましたが、米トランプ大統領が一部の相互関税の一時停止、中国との交渉に意欲を見せたことなどをを受けて反発しました。

●国内リート市況

国内リート市場は下落しました。前半は日銀の金融政策等の動向に左右される値動きの荒い展開となる中、国内長期金利の上昇が重しとなり、下落しました。後半は日銀が12月19日に利上げを見送り、追加利上げに急がない姿勢を示したことなどから上昇に転じました。その後も、国内長期金利の上昇を背景に、米政権の相互関税発表を受けて世界的にリスク回避の動きが強まったものの、好調なJ－R E I Tの決算発表等が好感され、下げ幅を縮小して期末を迎えました。

●海外リート市況

期初は、好調な米国経済を背景に米金利が高止まりする中で上値の重い展開で始まりました。7月に米景気懸念から金融緩和期待が広がると大きく上昇する展開となりました。9月半ば以降は、米大統領選挙で財政拡大に注目が集まったことで米金利が上昇したことを受けて軟調な展開となりました。年明け以降は、トランプ政権の政策に注目が集まり、4月初旬に発表された相互関税が嫌気され大幅に下落したものの、適用を延長したことから期末にかけて急回復しました。

●為替市況

為替市場では、前期末対比で米ドル、ユーロはともに対円で下落しました。

米ドルはF R B（米連邦準備理事会）による利下げ観測や日銀による利上げなどから下落した後、米国の利下げ観測後退や米国の新政権への期待から上昇しましたが、関税政策への懸念や日銀の利上げ観測から再度下落しました。ユーロはE C B（欧州中央銀行）による利下げ観測後退から上昇しましたが、日銀による利上げなどから下落に転じ、その後はレンジ内での展開が続きました。

■ポートフォリオについて

●当ファンド

期を通じて、国内債券マザーファンド受益証券、海外債券マザーファンド受益証券、エマージング債券マザーファンド受益証券、国内株式マザーファンド受益証券、海外株式マザーファンド受益証券、エマージング株式マザーファンド受益証券、国内リートマザーファンド受益証券及び海外リートマザーファンド受益証券への投資を行いました。

各マザーファンド受益証券の組入れについては、期を通じて概ね基本配分比率に合わせて分散投資し、その組入比率の合計を高位に維持しました。

為替については、期を通じて実質外貨建資産に対し、為替ヘッジは行っておりません。

【マザーファンド別組入比率】

（単位：％）

マザーファンド名	期首組入比率	期末組入比率
国内債券マザーファンド	8.7	10.8
海外債券マザーファンド	9.3	10.0
エマージング債券マザーファンド	9.9	9.0
国内株式マザーファンド	15.8	15.1
海外株式マザーファンド	21.5	19.7
エマージング株式マザーファンド	14.8	13.5
国内リートマザーファンド	8.9	11.3
海外リートマザーファンド	9.1	8.9
その他	1.9	1.6

（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

●国内債券マザーファンド

金利戦略は金利上昇を見込み、修正デュレーション（金利感応度）をベンチマーク対比短期化とする戦略を継続し、金利が大きく上昇した局面ではその幅を縮小させ、2025年3月中旬に小幅長期化した後、4月には短期化を復元しました。残存年限別構成戦略は、超長期ゾーンのアンダーウェイトを基本としました。種別構成戦略は、事業債のオーバーウェイトを維持しました。また、債券組入比率は高位を維持しました。

期末：2025年5月8日

期末		
	ファンド	ベンチマーク
平均クーポン	0.87%	0.87%
最終利回り	1.33%	1.30%
残存年数	9.14年	10.24年
修正デュレーション	7.77	8.31

（注）ファンドの各値は、組入債券の評価額合計を基に加重平均した値です。

〔組入上位5銘柄〕

期末					
順位	銘柄	利率	償還日	比率	
1	457回 利付国庫債券（2年）	0.10%	2026/2/1	11.9%	
2	367回 利付国庫債券（10年）	0.20%	2032/6/20	4.0%	
3	191回 利付国庫債券（20年）	2.00%	2044/12/20	3.4%	
4	152回 利付国庫債券（5年）	0.10%	2027/3/20	3.3%	
5	153回 利付国庫債券（20年）	1.30%	2035/6/20	2.6%	

（注）比率はファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

●海外債券マザーファンド

ポートフォリオ全体の修正デュレーションは期を通じてベンチマーク対比長めとしました。国別金利リスク配分は米国・ユーロ圏はベンチマーク対比中立から長めの間で運営し、期初非保有とした中国は期中に組み入れを開始し期末時点では長めとしました。通貨別配分は中国元のアンダーウェイトを軸に、期中は豪ドル・カナダドル・英ポンドなどのオーバーウェイトを構築したほか、米ドル・ユーロはオーバーウェイトからアンダーウェイトの間で運営しました。

期末：2025年5月8日

期末		
	ファンド	ベンチマーク
平均クーポン	2.69%	2.86%
最終利回り	3.45%	3.43%
平均残存期間	8.16年	8.20年
修正デュレーション	6.66	6.34

(注) ファンドの各値は、組入債券の評価額合計を基に加重平均した値です。

〔発行国別上位10カ国〕

(単位：％)

期末		
順位	国名	比率
1	アメリカ	45.1
2	中国	10.5
3	フランス	8.4
4	ドイツ	8.2
5	イタリア	6.5
6	スペイン	6.4
7	イギリス	5.3
8	オーストラリア	2.5
9	カナダ	1.8
10	シンガポール	1.4

(注) 比率はファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

●エマージング債券マザーファンド

世界のエマージング諸国の公社債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指しました。

国別配分は、パラグアイ、インドの組入比率を引き上げた一方、ハンガリー、サウジアラビアを引き下げました。

期末：2025年5月8日

期末	
	ファンド
平均クーポン	5.5%
最終利回り	8.0%
平均残存期間	13.3年
修正デュレーション	7.9

(注) ファンドの各値は、組入債券の評価額合計を基に加重平均した値です。

〔国・地域別上位10カ国〕 (単位：%)

期末		
順位	国・地域名	比率
1	アメリカ	14.9
2	メキシコ	4.0
3	ブルガリア	3.5
4	ルーマニア	3.3
5	南アフリカ	3.2
6	ペルー	3.1
7	パラグアイ	2.6
8	アルゼンチン	2.5
9	コスタリカ	2.5
10	エジプト	2.3

(注) 比率はファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

●国内株式マザーファンド

中長期的に企業価値が高まっていくと期待される企業群で、かつバリュエーション面でも魅力が高いと考えられる企業に対し選別投資をしていくことでベンチマーク対比での超過収益獲得に努めました。主な購入銘柄は、「村田製作所」、「任天堂」、「富士通」などです。一方で、当面の業績動向が相対的に見劣りすると予想される銘柄などを売却しました。主な売却銘柄は、「MS & ADインシュアランスグループホールディングス」、「東洋水産」、「第一三共」などです。

期末：2025年5月8日

【組入上位10業種】

(単位：％)

期末		
順位	業種	比率
1	電気機器	17.2
2	銀行業	8.9
3	サービス業	8.1
4	情報・通信業	7.0
5	小売業	6.3
6	輸送用機器	5.7
7	食料品	4.4
8	化学	4.3
9	建設業	3.7
10	精密機器	3.7

(注1) 比率はファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 業種は東証33業種分類です。

【組入上位10銘柄】

(単位：％)

期末		
順位	銘柄	比率
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	5.4
2	ソニーグループ	4.3
3	トヨタ自動車	3.8
4	三井住友フィナンシャルグループ	2.6
5	キーエンス	2.3
6	任天堂	2.3
7	伊藤忠商事	2.0
8	日立製作所	2.0
9	T & Dホールディングス	1.9
10	リクルートホールディングス	1.7

●海外株式マザーファンド

日本を除く世界の先進国の株式市場を主たる投資対象とし、各国のファンダメンタルズ分析に基づく国別投資魅力度の分析ならびに個別企業の投資価値判断を行い、中・長期的に投資魅力が高いと判断される銘柄に投資しました。各国の景気や金融政策、企業業績や政治リスクの動向等を見極めつつ、銘柄入替や保有比率調整を実施しました。セクター別では、情報技術の比率を高め維持したほか、一般消費財・サービスの比率を引き上げました。

期末：2025年5月8日

〔国（市場）別上位〕 (単位：％)

期末		
順位	国・地域名	比率
1	アメリカ	80.4
2	フランス	4.3
3	ドイツ	4.1
4	カナダ	2.6
5	イギリス	2.6
6	オランダ	0.9
7	イタリア	0.9
8	スペイン	0.8
9	スイス	0.8
10	オーストラリア	0.8

〔業種別上位10業種〕 (単位：％)

期末		
順位	業種	比率
1	ソフトウェア・サービス	17.8
2	一般消費財・サービス流通・小売り	11.2
3	メディア・娯楽	8.4
4	半導体・半導体製造装置	7.9
5	金融サービス	7.4
6	商業・専門サービス	6.7
7	資本財	6.4
8	ヘルスケア機器・サービス	6.1
9	銀行	5.8
10	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	5.5

〔組入株式上位10銘柄〕 (単位：％)

期末				
順位	銘柄	国名	業種	比率
1	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	4.4
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	4.3
3	AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	3.9
4	MASTERCARD INC	アメリカ	金融サービス	3.4
5	META PLATFORMS INC	アメリカ	メディア・娯楽	3.3
6	TJX COMPANIES INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	2.8
7	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	2.7
8	BROADCOM INC	アメリカ	半導体・半導体製造装置	2.5
9	ARTHUR J GALLAGHER & CO	アメリカ	保険	2.5
10	WASTE MANAGEMENT INC	アメリカ	商業・専門サービス	2.5

〔注1〕 比率はファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。
〔注2〕 業種は世界産業分類基準です。

●エマージング株式マザーファンド

個別銘柄の売買などの結果、国別配分では中国などの組入比率が上昇した一方、韓国などの組入比率が低下しました。業種配分では公益事業などの組入比率が上昇した一方、テクノロジー・ハードウェアおよび機器などの組入比率が低下しました。株式の組入比率は高位を維持しました。組入外貨建資産に対して為替ヘッジは行いませんでした。

期末：2025年5月8日

〔国・地域別上位10ヵ国〕

(単位：％)

期末		
順位	国・地域名	比率
1	インド	17.3
2	ケイマン諸島	16.8
3	台湾	16.2
4	中国	11.5
5	韓国	8.7
6	ブラジル	5.3
7	南アフリカ	3.4
8	メキシコ	2.3
9	サウジアラビア	2.2
10	シンガポール	2.1

〔組入上位10銘柄〕

(単位：％)

期末				
順位	銘柄	国・地域名	業種	比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR	台湾	半導体・半導体製造装置	8.6
2	TENCENT HOLDINGS LTD	ケイマン諸島	メディア・娯楽	5.9
3	ALIBABA GROUP HOLDING LTD	ケイマン諸島	一般消費財・サービス流通・小売り	4.7
4	MEDIATEK INC	台湾	半導体・半導体製造装置	2.4
5	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.3
6	NHPC LTD	インド	公益事業	2.0
7	EMBASSY OFFICE PARKS REIT	インド	イクイティ不動産投資信託 (REIT)	1.6
8	POWER GRID CORP OF INDIA LTD	インド	公益事業	1.5
9	SHRIRAM FINANCE LTD	インド	金融サービス	1.5
10	SINGAPORE TELECOMMUNICATIONS	シンガポール	電気通信サービス	1.5

(注1) 比率はファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 業種は世界産業分類基準です。

〔業種別上位10業種〕

(単位：％)

期末		
順位	業種	比率
1	銀行	13.1
2	半導体・半導体製造装置	12.3
3	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	7.2
4	メディア・娯楽	7.0
5	金融サービス	7.0
6	一般消費財・サービス流通・小売り	6.7
7	公益事業	6.1
8	電気通信サービス	5.8
9	資本財	4.9
10	耐久消費財・アパレル	3.8

●国内リートマザーファンド

分配金と資産価値の成長性、J－R E I T 価格の割安性などを重視して銘柄間のウェイト調整を行いました。具体的には、収益の改善を期待し、野村不動産マスターファンド投資法人などを追加購入しました。一方で、投資口価格等のバリュエーションを評価し、積水ハウス・リート投資法人などの一部売却を行いました。組入比率は高位を維持しました。

期末：2025年5月8日

〔組入上位10銘柄〕 (単位：％)

期末		
順位	銘柄	比率
1	KDX不動産投資法人	9.9
2	野村不動産マスターファンド投資法人	9.3
3	日本都市ファンド投資法人	7.9
4	GLP投資法人	7.0
5	アドバンス・レジデンス投資法人	6.2
6	ジャパンリアルエステイト投資法人	5.7
7	ラサールロジポート投資法人	5.3
8	日本ロジスティクスファンド投資法人	4.4
9	大和証券オフィス投資法人	3.6
10	インヴィンシブル投資法人	3.5

(注) 比率はファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

●海外リートマザーファンド

北米では、小売施設やヘルスケアなどの銘柄を中心に投資を行いました。欧州では、英国の複合銘柄や大陸欧州の小売施設などに投資を行い、アジア・オセアニア地域では、シンガポールの工業銘柄やオーストラリアの工業銘柄、香港の小売施設などを選別して投資しました。

リート組入比率は高位を維持しました。為替ヘッジは行いませんでした。

期末：2025年5月8日

〔国（市場）別上位〕

(単位：%)

期末		
順位	国・地域名	比率
1	アメリカ	75.4
2	オーストラリア	6.7
3	イギリス	4.9
4	シンガポール	3.8
5	フランス	1.9
6	香港	1.9
7	オランダ	0.7
8	カナダ	0.4
9	ベルギー	0.4

(注) 比率はファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

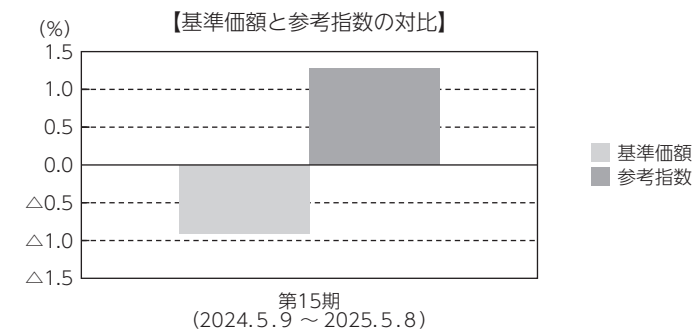
〔組入上位10銘柄〕

(単位：%)

期末			
順位	銘柄	国・地域名	比率
1	WELLTOWER INC	アメリカ	8.6
2	EQUINIX INC	アメリカ	6.6
3	SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ	5.3
4	GOODMAN GROUP	オーストラリア	4.8
5	EXTRA SPACE STORAGE INC	アメリカ	4.0
6	PROLOGIS INC	アメリカ	3.4
7	DIGITAL REALTY TRUST INC	アメリカ	3.3
8	REGENCY CENTERS CORP	アメリカ	3.2
9	VICI PROPERTIES INC	アメリカ	3.0
10	AVALONBAY COMMUNITIES INC	アメリカ	2.9

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金は、基準価額の水準や市況動向等を勘案した結果、分配を見送らせていただきました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2024年5月9日 ～2025年5月8日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－％
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	22,104円

- (注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
- (注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。
- (注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

当ファンドの運用方針に従い、各マザーファンド受益証券への投資を通じて、内外の公社債、株式及び不動産投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長と安定した収益の確保を目指します。引き続き、各マザーファンド受益証券への投資配分については、基本配分比率を目処に投資を行います。また、実質外貨建資産に対し、為替ヘッジは行わない方針です。

●国内債券マザーファンド

米国の関税政策の影響で、短期的なリスクは景気減速方向にあるも、中長期的には日銀による金融政策の正常化が進むことで、金利は緩やかに上昇すると見込みます。金利戦略は、修正デュレーションを機動的に操作し、残存期間別構成戦略は、利回り曲線上で割安と判断する年限を厚めに保有します。種別構成・個別銘柄戦略は、信用力が安定的で、且つ利回り面で妙味があると判断される銘柄の組み入れを検討する方針です。

●海外債券マザーファンド

米国のトランプ政権による関税政策から一時は市場変動幅が拡大しましたが、米国債利回りが上昇した局面では政策の軌道修正を図るなど金利上昇を抑制したいとの意図が伺えます。今後は既に発動された一律関税・各種セクター別関税による実体経済への影響が顕在化することや、発動が延期された相互関税も含めトランプ政権の政策の不透明感が企業投資・家計消費を抑制すると想定し、利下げ再開とともに短中期ゾーンを中心に金利は低下すると見込みます。

●エマージング債券マザーファンド

米国が公表した相互関税については、世界経済の成長に逆風となる可能性が高いと考えていますが、関税の大幅な引き上げはないと見ています。新興国の経常収支は管理可能であり、財政赤字は改善もしくはは安定的に推移しており、インフレも落ち着きつつあるなど、ファンダメンタルズは依然として強いと考えており、相対的に価値の高い投資機会を選別的に探っていく方針です。

●国内株式マザーファンド

今後の国内株式市場は、米国の政策動向には留意が必要ですが、国内消費拡大を背景とした堅調な業績成長から緩やかな上昇基調が続くものと予想します。今後の運用方針は、中長期的に企業価値が高まっていくと期待される企業群で、かつバリュエーション面でも魅力が高いと考えられる企業に選別投資していく方針です。

●海外株式マザーファンド

外国株式市場は、米国の関税政策・金融政策を巡る思惑や企業業績への懸念などから、短期的には上下のレンジを伴った横ばいで推移すると想定しております。運用方針としては、中長期的なファンダメンタルズの見通しが良好ながらも、短期的な業績の不透明感の高まりなどで割安感が強まった銘柄等に選別投資する方針です。株式組入比率は高位を維持します。為替ヘッジは行わない方針です。

●エマージング株式マザーファンド

持続可能な利益成長や配当支払いによる株主還元の観点から投資妙味が高いと判断される優良銘柄を厳選して投資する方針です。国別では、ベンチマーク対比で中国などの組入比率を高め、サウジアラビアなどの組入比率を低めにする方針です。業種別では、ベンチマーク対比で金融サービスなどの組入比率を高め、銀行などの組入比率を低めにする方針です。

●国内リートマザーファンド

国内リート市場は、トランプ政権の関税政策による世界景気への影響や金利動向を踏まえたリスク許容度の変化に影響される展開を想定しています。不動産ファンダメンタルズについては、オフィス賃料上昇の加速感等に注目しています。個別銘柄では、インフレを上回る内部成長等が注目される展開になると考えています。銘柄選択、ポートフォリオ構築に際し、保有資産の質や運用能力の調査・分析結果をベースに、分配金と資産価値の成長性等を考慮して実施していきます。

●海外リートマザーファンド

米国のトランプ政権の関税政策によって世界経済の先行き不透明感が強まっています。各国中央銀行は金融緩和を実施しているものの、米国ではインフレ懸念から積極的な金融緩和に躊躇する動きが見られます。こうした中で、米国では小売施設やヘルスケアなどの銘柄、欧州では小売施設や複合施設、学生寮などの銘柄、アジア・オセアニア地域では工業や複合などの銘柄などに対して魅力的な相対的バリュエーションで投資します。

お知らせ

約款変更のお知らせ

- 当ファンドが投資対象とする「エマージング株式マザーファンド」において、ベンチマークの表記をMSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）からMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）に変更しました。なお、表記の変更のみで使用している指数に変更はありません。

(2025年1月16日)

- 当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「国内債券マザーファンド」、「海外債券マザーファンド」、「エマージング債券マザーファンド」、「国内株式マザーファンド」、「海外株式マザーファンド」、「エマージング株式マザーファンド」、「国内リートマザーファンド」および「海外リートマザーファンド」において、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書の交付」を「運用状況にかかる情報の提供」に変更しました。

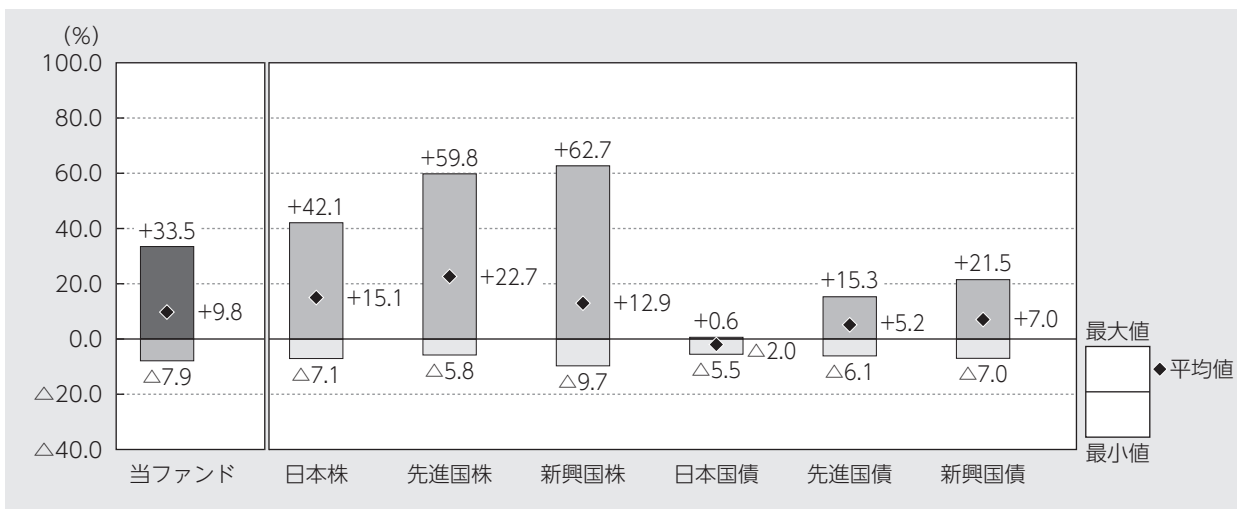
(2025年4月1日)

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合	
信 託 期 間	2010年7月16日から無期限です。	
運 用 方 針	世界の8つの資産（国内債券、海外債券、エマージング債券、国内株式、海外株式、エマージング株式、国内リートおよび海外リート）にバランスよく分散投資を行い、安定的な投資成果を目指します。	
主要投資対象	世界8資産ファンド ＜ D C 年 金 ＞	「国内債券マザーファンド」、「海外債券マザーファンド」、「エマージング債券マザーファンド」、「国内株式マザーファンド」、「海外株式マザーファンド」、「エマージング株式マザーファンド」、「国内リートマザーファンド」、「海外リートマザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。
	国内債券マザーファンド	わが国の公社債を主要投資対象とします。
	海外債券マザーファンド	日本を除く世界主要先進国の公社債を主要投資対象とします。
	エマージング債券マザーファンド	世界のエマージング諸国の公社債を主要投資対象とします。
	国内株式マザーファンド	わが国の株式を主要投資対象とします。
	海外株式マザーファンド	日本を除く世界主要先進国の株式を主要投資対象とします。
	エマージング株式マザーファンド	世界のエマージング諸国の株式（D R（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
	国内リートマザーファンド	わが国の不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
	海外リートマザーファンド	日本を除く世界各国の不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
運 用 方 法	国内債券、海外債券、エマージング債券、国内株式、海外株式、エマージング株式、国内リートおよび海外リートに分散投資を行い、安定的な投資成果を目指します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。エマージング債券マザーファンドの運用指図に関する権限をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに、エマージング株式マザーファンドの運用指図に関する権限をオールスプリング・グローバル・インベストメンツ・エルエルシーに委託します。	
分 配 方 針	毎年原則として5月8日に決算を行い、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等の全額を分配対象として、基準価額水準、市況動向等を勘案し、分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2020年5月～2025年4月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

当ファンドのデータ

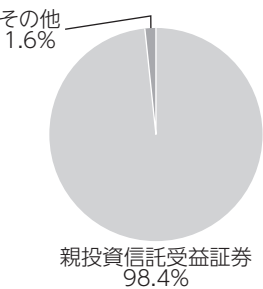
当ファンドの組入資産の内容（2025年5月8日現在）

◆組入ファンド等（組入ファンド数：8ファンド）

	当期末
	2025年5月8日
国内債券マザーファンド	10.8%
海外債券マザーファンド	10.0
エマージング債券マザーファンド	9.0
国内株式マザーファンド	15.1
海外株式マザーファンド	19.7
エマージング株式マザーファンド	13.5
国内リートマザーファンド	11.3
海外リートマザーファンド	8.9
その他	1.6

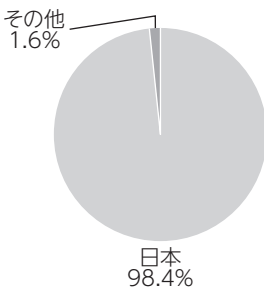
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

◆資産別配分

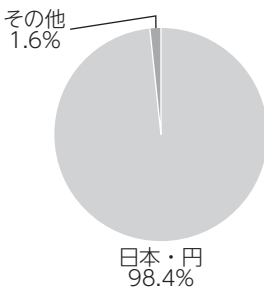


（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注2）現金等はその他として表示しています。

◆国別配分



◆通貨別配分



純資産等

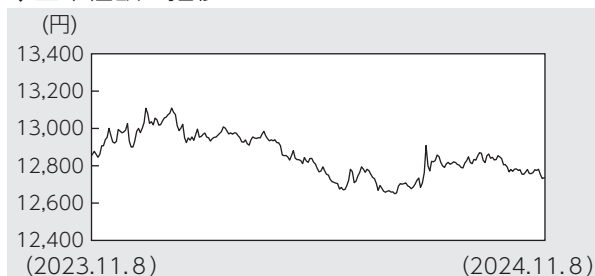
項目	当期末
	2025年5月8日
純資産総額	7,229,056,709円
受益権総口数	2,251,714,084口
1万口当たり基準価額	32,105円

（注）当期中における追加設定元本額は526,916,924円、同解約元本額は349,660,579円です。

組入ファンドの概要

【国内債券マザーファンド】（計算期間 2023年11月9日～2024年11月8日）

◆基準価額の推移



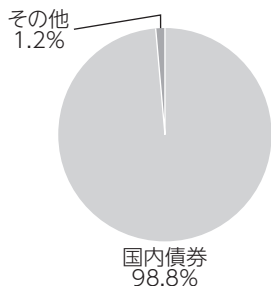
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
1 2 2 0 回 国庫短期証券	日本・円	10.7%
1 5 6 回 利付国庫債券（5年）	日本・円	3.4
3 7 5 回 利付国庫債券（10年）	日本・円	3.1
3 7 4 回 利付国庫債券（10年）	日本・円	3.0
1 2 5 7 回 国庫短期証券	日本・円	2.9
4 5 7 回 利付国庫債券（2年）	日本・円	2.7
1 6 8 回 利付国庫債券（20年）	日本・円	2.6
1 5 3 回 利付国庫債券（20年）	日本・円	2.6
2 6 回 物価連動国債（10年）	日本・円	2.3
1 2 3 1 回 国庫短期証券	日本・円	2.0
組入銘柄数	81銘柄	

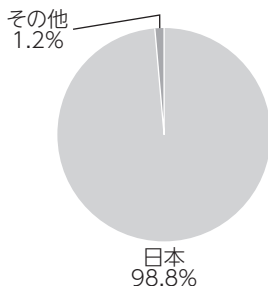
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

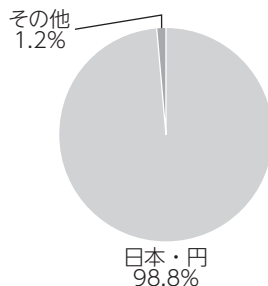
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

（注2）「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

（注3）組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

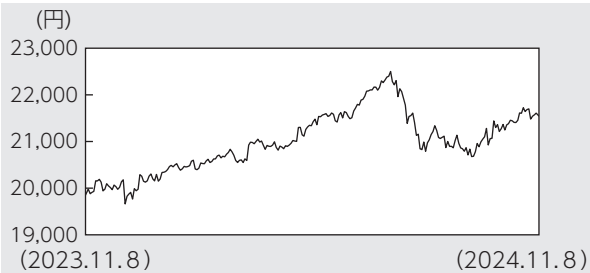
（注4）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注5）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

（注6）計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

[海外債券マザーファンド] (計算期間 2023年11月9日～2024年11月8日)

◆基準価額の推移



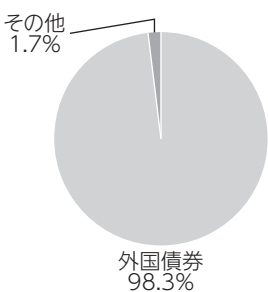
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
US T N/B 1.75 01/31/29	アメリカ・ドル	8.3%
US T N/B 2.5 03/31/27	アメリカ・ドル	7.9
US T N/B 1.625 05/15/31	アメリカ・ドル	6.8
US T N/B 4.125 11/15/32	アメリカ・ドル	5.5
US T N/B 2.25 11/15/27	アメリカ・ドル	4.6
US T N/B 0.625 08/15/30	アメリカ・ドル	4.4
ITALY BTPS 4.4 05/01/33	ユーロ	3.3
US T N/B 4.5 02/15/36	アメリカ・ドル	3.3
CHINA GOVERNMENT BOND 1.67 06/15/26	オフショア・人民元	3.3
CHINA GOVERNMENT BOND 2.11 08/25/34	オフショア・人民元	3.0
組入銘柄数		46銘柄

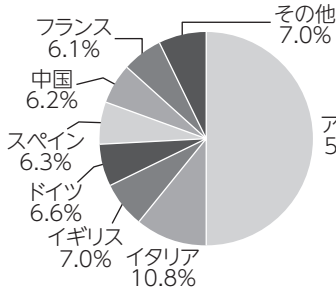
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	5円 (5) (0)	0.024% (0.024) (0.000)
合計	5	0.024
期中の平均基準価額は20,992円です。		

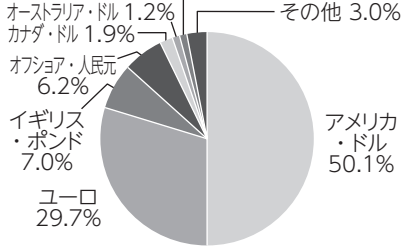
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。

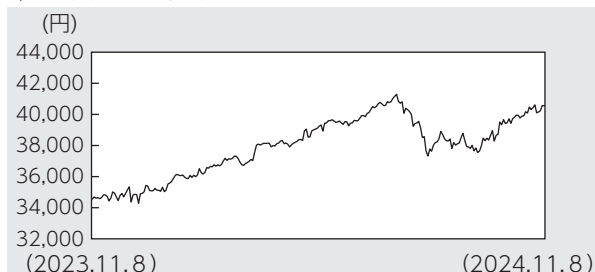
(注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注7) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

[エマージング債券マザーファンド] (計算期間 2023年11月9日～2024年11月8日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄 (現物)

銘柄名	通貨	比率
US T N/B 4.25 08/15/54	アメリカ・ドル	5.8%
US T N/B 4.625 05/15/54	アメリカ・ドル	4.4
US T N/B 3.875 08/15/34	アメリカ・ドル	3.7
DOMINICAN REPUBLIC 4.875 09/23/32	アメリカ・ドル	2.0
REPUBLIC OF ARGENTINA 07/09/35	アメリカ・ドル	2.0
HUNGARY 5.5 06/16/34	アメリカ・ドル	1.9
PANAMA 2.252 09/29/32	アメリカ・ドル	1.7
COLOMBIA 3.25 04/22/32	アメリカ・ドル	1.5
COSTA RICA GOVERNMENT 7.3 11/13/54	アメリカ・ドル	1.5
US T N/B 4.25 02/15/54	アメリカ・ドル	1.1
組入銘柄数	125銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

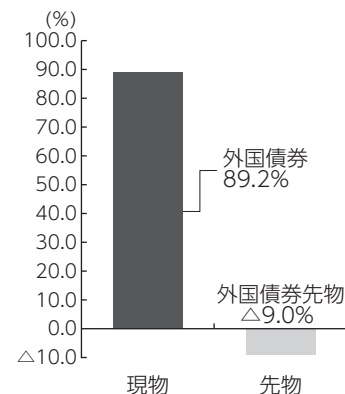
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0円 (0)	0.001% (0.001)
(b) その他費用 (保管費用)	45 (45)	0.119 (0.119)
(その他)	(0)	(0.001)
合計	46	0.120

期中の平均基準価額は37,936円です。

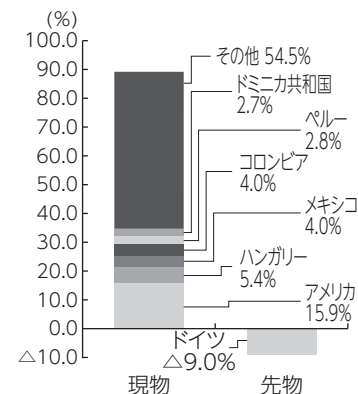
◆組入上位銘柄 (先物)

銘柄名	売買	比率
EURO-BUND FUTURES	売建	4.2%
EURO-BOBL FUTURES	売建	3.1
EURO-SCHATZ FUT	売建	1.7
組入銘柄数	3銘柄	

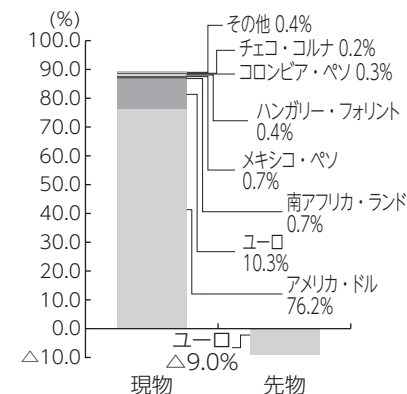
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。

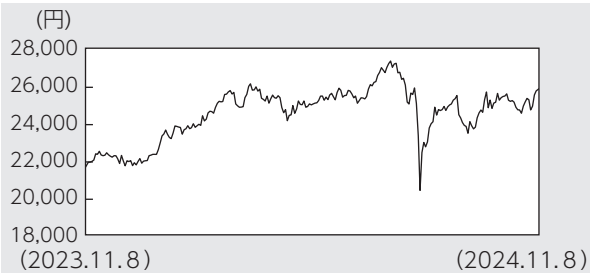
(注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注7) 資産別配分、国別配分、通貨別配分の先物比率は、買建比率÷売建比率です。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

[国内株式マザーファンド]（計算期間 2023年11月9日～2024年11月8日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

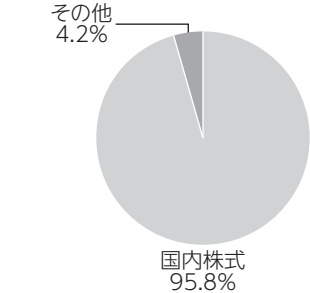
銘柄名	通貨	比率
三菱UFJフィナンシャル・グループ	日本・円	6.4%
トヨタ自動車	日本・円	4.5%
MS&ADインシュアランスグループホールディングス	日本・円	3.5%
ソニーグループ	日本・円	3.2%
三井住友フィナンシャルグループ	日本・円	3.1%
HOYA	日本・円	2.5%
三井物産	日本・円	2.4%
キーエンス	日本・円	2.4%
T&Dホールディングス	日本・円	2.4%
信越化学工業	日本・円	2.4%
組入銘柄数	83銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

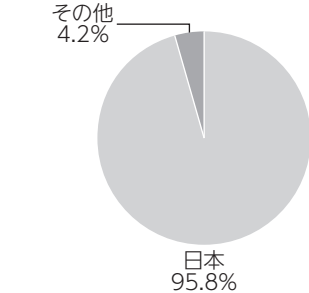
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	8円 (8)	0.033% (0.033)
合計	8	0.033

期中の平均基準価額は24,511円です。

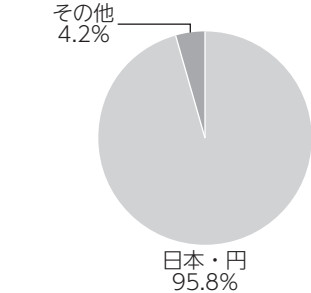
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

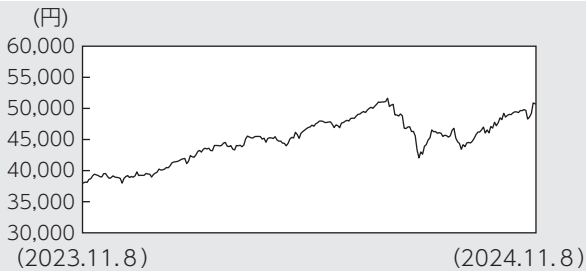
(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

[海外株式マザーファンド] (計算期間 2023年11月9日～2024年11月8日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

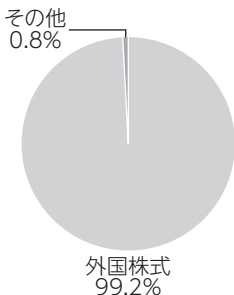
銘柄名	通貨	比率
MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	6.0%
NVIDIA CORP	アメリカ・ドル	5.6
APPLE INC	アメリカ・ドル	4.6
SERVICENOW INC	アメリカ・ドル	3.4
ALPHABET INC-CL A	アメリカ・ドル	2.9
AMAZON.COM INC	アメリカ・ドル	2.9
SCOUT24 SE	ユーロ	2.4
ADOBE INC	アメリカ・ドル	2.4
MASTERCARD INC	アメリカ・ドル	2.4
JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ・ドル	2.3
組入銘柄数	66銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

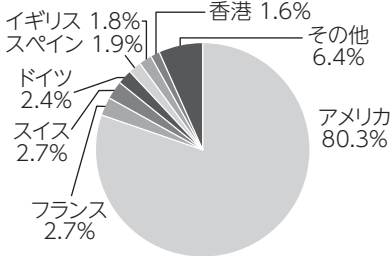
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資証券)	92円 (91) (1)	0.205% (0.202) (0.003)
(b) 有価証券取引税 (株式) (投資証券)	22 (22) (0)	0.049 (0.049) (0.000)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	50 (50) (0)	0.111 (0.111) (0.000)
合計	164	0.365

期中の平均基準価額は44,892円です。

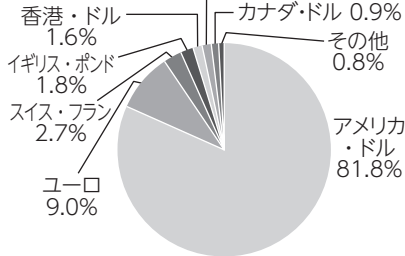
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

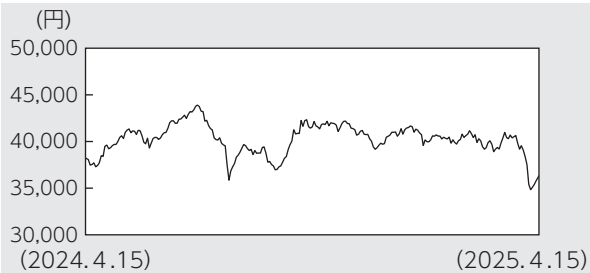
(注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注7) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

[エマージング株式マザーファンド] (計算期間 2024年4月16日～2025年4月15日)

◆基準価額の推移



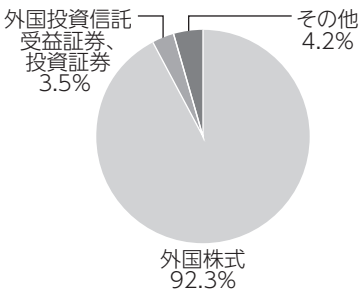
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
TAIWAN SEMICONDUCTOR	台湾・ドル	7.2%
TENCENT HOLDINGS LTD	香港・ドル	5.8
ALIBABA GROUP HOLDING LTD	香港・ドル	4.5
MEDIATEK INC	台湾・ドル	2.7
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国・ウォン	2.5
NHPC LTD	インド・ルピー	2.1
EMBASSY OFFICE PARKS REIT	インド・ルピー	1.7
CHINA CONSTRUCTION BANK	香港・ドル	1.6
POWER GRID CORP OF INDIA LTD	インド・ルピー	1.5
SHRIRAM FINANCE LTD	インド・ルピー	1.5
組入銘柄数	102銘柄	

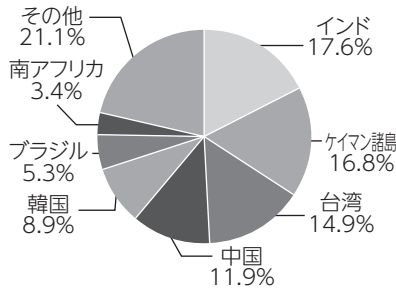
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	93円	0.231%
(株式)	(91)	(0.227)
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)
(投資証券)	(2)	(0.004)
(b) 有価証券取引税	55	0.136
(株式)	(54)	(0.134)
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)
(投資証券)	(1)	(0.002)
(c) その他費用	549	1.364
(その他)	(549)	(1.364)
合計	697	1.732
期中の平均基準価額は40,216円です。		

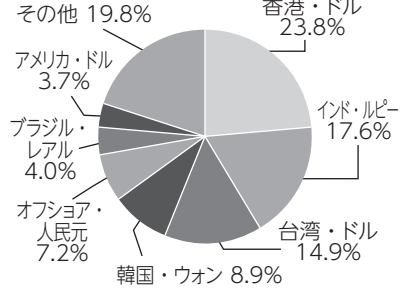
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄・資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。

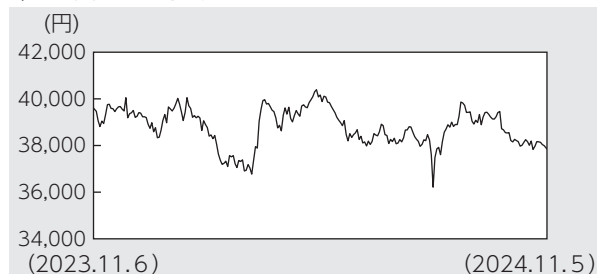
(注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注7) 現金等はその他として表示しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【国内リートマザーファンド】（計算期間 2023年11月7日～2024年11月5日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

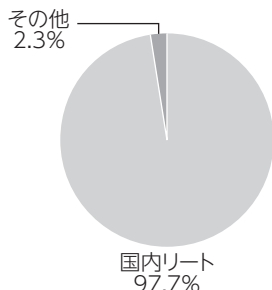
銘柄名	通貨	比率
KDX不動産投資法人	日本・円	9.9%
野村不動産マスターファンド投資法人	日本・円	9.4
ラサールレジポート投資法人	日本・円	7.6
GLP投資法人	日本・円	7.4
日本ビルファンド投資法人	日本・円	6.4
日本都市ファンド投資法人	日本・円	6.3
アドバンス・レジデンス投資法人	日本・円	5.9
大和証券オフィス投資法人	日本・円	5.3
オリックス不動産投資法人	日本・円	4.2
インヴェンシブル投資法人	日本・円	3.8
組入銘柄数	37銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

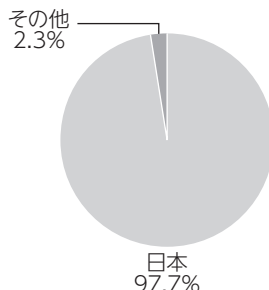
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資証券)	31円 (31)	0.079% (0.079)
合計	31	0.079

期中の平均基準価額は38,790円です。

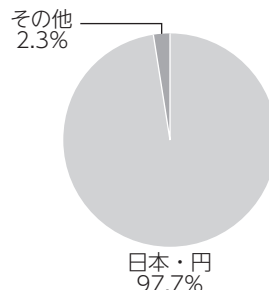
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

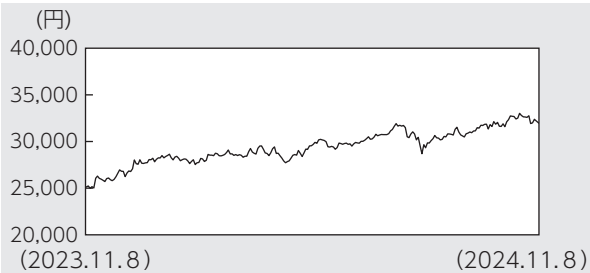
(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

[海外リートマザーファンド]（計算期間 2023年11月9日～2024年11月8日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

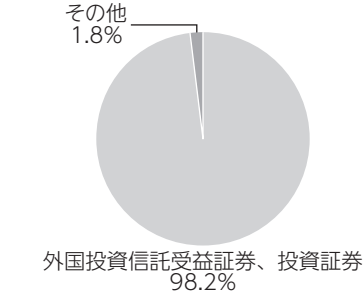
銘柄名	通貨	比率
EQUINIX INC	アメリカ・ドル	9.5%
SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ・ドル	7.7
REALTY INCOME CORP	アメリカ・ドル	7.0
GOODMAN GROUP	オーストラリア・ドル	5.7
WELLTOWER INC	アメリカ・ドル	4.9
CUBESMART	アメリカ・ドル	3.6
SUN COMMUNITIES INC	アメリカ・ドル	3.6
PROLOGIS INC	アメリカ・ドル	3.1
REXFORD INDUSTRIAL REALTY INC	アメリカ・ドル	2.9
REGENCY CENTERS CORP	アメリカ・ドル	2.7
組入銘柄数	65銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

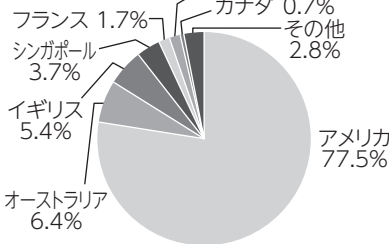
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資信託受益証券) (投資証券)	62円 (8) (53)	0.210% (0.029) (0.181)
(b) 有価証券取引税 (投資信託受益証券) (投資証券)	8 (0) (8)	0.028 (0.002) (0.027)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	38 (36) (2)	0.129 (0.123) (0.006)
合計	108	0.367

期中の平均基準価額は29,412円です。

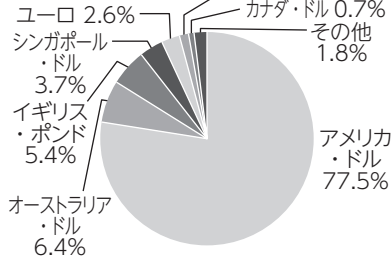
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

(注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注7) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

＜当ファンドが組み入れているマザーファンドのベンチマークについて＞

●NOMURA－BPI 総合

「NOMURA－BPI 総合」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付債券の市場全体の動向を表すために開発した経過利子込時価総額加重型の投資収益指数です。

NOMURA－BPI 総合の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

「FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

「JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバースファイド（円ベース）」は、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバースファイド（米国ドルベース）をもとに、委託会社が独自に円換算して計算したものです。

JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバースファイド（米国ドルベース）に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

●TOPIX（配当込み）

「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

●MSCI－KOKUSAI 指数（グロス配当再投資込み、円ベース・為替ヘッジなし）

「MSCI－KOKUSAI 指数（グロス配当再投資込み、円ベース・為替ヘッジなし）」は、MSCI－KOKUSAI 指数（グロス配当再投資込み、米国ドルベース）をもとに、委託会社が独自に円換算して計算したものです。なおMSCI－KOKUSAI 指数（グロス配当再投資込み、米国ドルベース）は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。

MSCI－KOKUSAI 指数（グロス配当再投資込み、米国ドルベース）に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

「MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）」は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米国ドルベース）をもとに、委託会社が独自に円換算して計算したものです。なおMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米国ドルベース）は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、エマージング諸国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米国ドルベース）に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●東証REIT指数（配当込み）

「東証REIT指数」は、東証上場REIT全銘柄を対象とした時価総額加重型の指数で、同指数（配当込み）は、配当金の権利落ちによる市場価格の調整が考慮されます。なお、2017年1月31日より、浮動株比率が考慮された指数となっています。同指数の指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

●S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、円ベース）

「S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、円ベース）」は、日本を除く世界主要先進国に上場するREITおよび同様の制度に基づく銘柄の浮動株修正時価総額に基づいて算出されています。

「S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、円ベース）」は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズLLCまたはその関連会社は、いかなる指数の資産クラスまたは市場セクターを正確に代表する能力に関して、明示または黙示を問わずいかなる表明または保証もしません。また、S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、円ベース）のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

●「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。

●「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

●「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

